
【1】第20回高校生理学研究発表会の開催概要について

【2】第3回 中高生・教員と若手研究者の「天文対話」のご案内

【1】第20回高校生理学研究発表会の開催概要について

第20回高校生理学研究発表会が、対面によるポスター発表の形式で千葉大学西千葉キャンパスにて開催されます。昨年同様、オンラインによる発表資料の公開も併用します。募集期間、開催日は以下の通りです。

○募集期間：令和8年8月24日（月）正午～令和8年8月28日（金）正午（時間厳守）。

応募できる分野は次の9分野です。英語による発表も受け付けます。

- (1) 物理Ⅰ（物理学一般、宇宙物理など）
- (2) 物理Ⅱ（機械工学、電気工学、土木建築工学、ロボット工学、航空工学など）
- (3) 化学Ⅰ（物理化学、無機化学、分析化学など）
- (4) 化学Ⅱ（有機化学、生化学、環境化学など）
- (5) 生物Ⅰ（動物科学、栄養・病理・生理学、心理学など）
- (6) 生物Ⅱ（植物科学、園芸学、微生物学など）
- (7) 地学（地質学、気象学など）
- (8) 数学
- (9) 情報

今回より応募は各高等学校で「各分野10件以内」かつ「合計40件以内」とさせていただきます。

募集件数は400件を上限とし、募集期間内であっても申込みが400件に達した時点で募集を終了します。

○ポスター発表：令和8年9月26日（土）午前、午後でポスターの張り替えを行います。

○発表資料の公開（オンライン）：令和8年9月24日（木）～令和8年10月6日（火）

開催方法等は千葉大学高大連携支援室のWEBサイトの「開催概要」（<https://www.cfs.chiba-u.jp/koudai-renkei/event/> より）をご覧ください。

【2】第3回 中高生・教員と若手研究者の「天文対話」のご案内（日本天文学会のWebページより転載）

中学生、高校生の皆さん、そして、学校教員の皆さん！

天文学の若手研究者と最新の天文学について語り合ってみませんか？

中高生対象の対話形式の講演会シリーズ「中高生・教員と若手研究者の天文対話」第三回の講師は、2024年度に日本天文学会の研究奨励賞を受賞された、東北大学の若手研究者の藤林翔さん。

「数値シミュレーションで明らかにする連星中性子星合体と重たい元素の起源」をテーマに、天文学者に至るこれまでの道のりなども含めて、質疑応答を主軸にお話をさせていただきます。

藤林さんの講演のあとには、参加者の皆さんと交流の機会を持ちます。そこで、気になったこと、疑問に思ったことをいろいろ聞いてみませんか？

本企画は、日本天文学会春季年会のジュニアセッションのあとに行なわれるので、ぜひともこの機会にご参加ください。

第三回 中高生・教員と若手研究者の「天文対話」

開催日時：2026年3月7日(土) 17時00分～18時30分

場所：[キャンパスプラザ京都](#)

講師：藤林翔(東北大学)

タイトル：数値シミュレーションで明らかにする連星中性子星合体と重たい元素の起源

概要：本講演では、連星中性子星合体現象において合成される元素や放射される電磁波を数値シミュレーションで予測し、観測データと比較することで重元素の起源を探る研究とともに、天文学者に至るこれまでの道のりなどをご紹介します。

対象：中学生、高校生、学校教員等

形式：ハイブリッド(対面及びオンライン視聴)

(対面参加は、中高生・学校教員に限定します。オンラインは一般の方も視聴できます)

参加費：無料

申込方法：参加希望者は事前に下記 web ページのフォームから申し込みください。

<https://www.asj.or.jp/jp/news/2026/news0119090000.html>

※申し込み締切：2026年3月3日(火)

主催：日本天文学会 天文教育委員会 後援：日本天文教育普及研究会

問い合わせ先：kyoiku2025@asj.or.jp

【編集後記】

テレビ離れが進み、スマホ等を利用して、サブスクリプションサービスで映画やドラマを視聴するケースが増えている。株式会社ICT総研による「2025年 有料動画配信サービス利用動向に関する調査」によると、有料動画配信サービス利用者数は2025年に3,890万人で、2027年に4,120万人へ拡大とのこと。詳細は以下の記事を。

<https://ictr.co.jp/report/20250423.html/>

この中でもAmazon Prime VideoやNetflixの利用者が多いことがわかるが、私もAmazon Prime Videoを利用して昨年のMLBのドジャース戦を楽しませていただいた。今年のWBC(ワールドベースボールクラシック)はNetflixの独占契約がされているので、短期間の加入をすべきかどうか考え中である。

一方で私はテレビ番組を録画して視聴することも多い。お気に入りの番組を並べてみると、「魔改造の夜」「ニュー試」「知的探求フロンティア タモリ・山中伸弥の!?!」「ブラタモリ」「笑わない数学」「ねほりんぱほりん」「将棋フォーカス」「NHK杯将棋トーナメント」とこまでNHKやEテレの番組が並んでいる。民放では「プレバト」「旅バラ」「マツコの知らない世界」等。ドラマは最近あまり観なくなったが、昨年末に放送された「火星の女王」は非常に面白かった。ちなみにこのSFドラマの原作の小説は2025年9月に発売されている。

もっとも、リアルタイムで視聴することは少なく、テレビの内臓HDDに録画して、時間のあるタイミングで視聴しては消すことを繰り返している。たまに気に入ったらブルーレイディスク(以降BRD)に焼いて保存してきた。ただ、残念なことに2025年初頭にソニーやLGがBRDの生

産を終了してしまった。市場縮小や収益性の低下によるものということで、ここにもサブスクの影響が大きく出ている。もっとも、国産メーカーでまだBRDを生産しているところはあるので、今のところは大丈夫だ。もしもこれらのメーカーが生産中止することになったなら（今から気をもんでも仕方がないが）買いだめする必要があるかもしれない。適切に保存をすれば情報を100年保持できるディスクもあるようだ（当然ながら私の余命は100年もないが）。さらには2026年2月にソニーがBRDドライブの生産を終了し、国産ではパナソニックだけになってしまった。ご自宅にBRDをお持ちの方は、再生機の予備を今のうちにご準備された方が良くもしいない。

ところで、SPhotonixという会社が研究開発している、ある技術が実用化間近なようだ。これは（読み書きの速度が遅いため）ブルーレイの代わりになる技術ではないが、データを超大容量かつ超長期保存できる技術であることは間違いない。会社のWebサイトのURLはこちら。

<https://sphotonix.com/>

いつもながら技術の進歩に驚かされる。

さて、AIと数学の話題で、興味深いものをいくつか紹介させていただく。

「小型AIエージェントでハルシネーションなしの数学証明—国際数学オリンピック金メダル級性能を実証—」

<https://sci.kyoto-u.ac.jp/ja/news-518>

「AIで数学の未解決問題をほぼ自動的に解くことに成功、AIツールにおける重要な進展に」

<https://gigazine.net/news/20260114-gpt-5-2-pro-solved-erdos-problem/>

「宇宙際タイヒミュラー理論」の今—数学の検証はどこへ向かうのか」

<https://note.com/kojifukuoka/n/n1aac1f6958d0>

今後、AIを利用した証明が主流になっていくのかもしれない。テレンス・タオ教授とその研究については様々な情報があるので、続報が楽しみである。

AIといえはこの数年共通テストをAIに解かせた結果を公表している会社がある。

「【満点9科目！】共通テスト2026を最新版AIに解かせてみた（Chatgpt、Gemini、Claude）」

<https://note.com/lifeprompt/n/nb87edfb2e7ca>

ついにここまで来ましたか。

ついでに、AIとは関係ない数学のニュースも。

「古代メソポタミアの人々はアートで数学的思考を視覚化していた？ 数学史の従来説を覆す新発見」「古代の陶器に描かれたデザイン、人類の数学的思考示す最古の証拠か」

https://artnewsjapan.com/article/57369?gallery_id=1&slide=5

<https://www.cnn.co.jp/fringe/35242846.html>

考古学者と数学者とで意見の相違があるが、2以外の公比の事例が見つければ考古学者の意見に賛同できそうだ。現時点ではどちらともいえないが、デザインとして面白い。

現代はAIの使い方が問われる時代なのだと思うが、AIが使えるさえすればよい、と安易に考えてしまう学生・生徒達が増えていくことが懸念される。令和6年の12月に、文部科学省から各種のガイドラインがまとめられている。

<https://www.mext.go.jp/zyoukatsu/ai/about.html>

ご覧になった先生方が実践できるようにするところまでの研修が十分になされることによって、教育に反映できると思うが、つまりはAIによって先生方の仕事が軽減できる部分もあるし、AIの使い方を覚えるという、今までになかった仕事が増えるわけでもある。結果として先生方の負担は増えている気がしてならないのであった。

寒さ厳しい折、皆様ご自愛ください。（金）